

ベトナム | EPR 導入によるリサイクルの進展と未来展望

2025 年 1 月 17 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナム | EPR 導入によるリサイクルの進展と未来展望

以前、ベトナムではリサイクル業者は市場原則に基づき、利益がある場合にのみ投資や活動を行っていた。しかし現在では、輸入業者や製造業者が EPR（拡大生産者責任）の下で責任を負い、リサイクルへの投資と実施を進めるようになっている。

2024 年の統計によると、企業は毎日 180 トンの使用済みプラスチック廃棄物を収集している。EPR 政策および製造業者や輸入業者の連携のもとで、企業は年間最大 10 万トンの処理能力に増強できると言われる。以前は低品質な製品のリサイクルが中心だったが、現在の技術ではペットボトルを再生可能な樹脂粒子にリサイクルし、新しいペットボトルを製造できるようになった。2026 年までに年間約 65 億本のボトルを供給することが見込まれている。

初期段階におけるリサイクル企業の最大の課題は、原材料の供給源と製品の販売先の確保である。以前はリサイクル製品の概念が広く認知されていなかったが、EPR 規定の導入以降、国内での関心と消費が大幅に増加している。現在、市場にはリサイクル素材を 50%、さらには 100% 使用したボトル製品が数多く出回っている。

以上